

被害防除計画書（記載例）

転用事業者名

〇 〇 建設（株）

項 目	対 応
転用地からの土砂の流出 たい積、崩壊に対する防 除計画について	（記載例） 申請者と隣接地の境界部分には、コンクリート擁壁を設置し、盛土部分 の崩落により、隣接地へ土砂が流出しないよう留意します。 （別紙 土地利用計画図参照）
雨水排水・生活雑排水に ついて	（記載例） 申請地への雨水は、擁壁内周に排水路及び沈殿柵を設け、既存排水路に 接続します。申請地の土砂は沈殿柵に流入するようにし、隣接地及び 水路に直接流入し内容に留意します。 生活雑排水は公共下水道（合併浄化槽）に接続し、直接既存排水路に 流入しないよう留意します。 （別紙 土地利用計画図参照）
近傍農地の日照・通風に ついて	（記載例） 予定建築物は木造 2 階建てで全高 6 m 程度のものです。北側に隣接農 地がありますが建築物は境界から 4m 離れた位置に建築し、北側農地 の日照・通風に支障が極力ないように留意します。 （別紙 土地利用計画図参照）
その他 （ガス・湧水・粉塵・捨 石・鉱煙等により影響を 及ぼす恐れがある場合）	（記載例） 予定建築物は木材加工場であり、創業時にオガクズの飛散が予想されま すが、密閉構造のオガクズ一時保管施設を設置し、周辺に飛散すること のないよう留意します。 （別紙 土地利用計画図参照）

\*なお、上記の施設に関して、図面は土地利用計画書に合わせて記載できれば、それをもって替えることとする。